

令和8年

# 年頭所感



札幌商工会議所  
会頭 安田 光春

明けましておめでとうございます。  
謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

国内では初めての女性総裁による新たな政治体制が始まりました。新総裁が掲げる「積極財政」の下、企業投資や国民の消費活動が勢いを増し、経済の循環が活発になることを期待しています。

一方で、物価や人件費の上昇、人手不足など、多くの中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

このような状況の下、札幌商工会議所は「Forward!」企業と共に札幌の成長を目指す「スローガン」に掲げ、事業を展開してまいります。

昨今、多くの企業が直面している最重要課題の一つに「人手不足」が挙げられます。少子化の進行に伴い採用競争は一段と激しくなりました。人材の確保や定着のため

の工夫、AI導入やデジタル化による業務効率化・省力化の推進が不可欠です。当所では今年、人材支援と技術導入支援の双方を強力に進め、企業の生産性向上を後押ししてまいります。

また、中小企業が継続的に賃上げを実現し、成長投資の原資を確保するためには「稼ぐ力」の強化が欠かせません。外国人観光客の増加を生かして外貨を獲得する取り組みや、国内外への販路拡大など、各業界の振興に向けた取り組みを通じて地域産業の底上げを図ってまいります。

現在、中小企業では物価上昇を上回る賃上げが求められる中、人手不足を背景に「防衛的な賃上げ」を余儀なくされている現状があります。そこで、価格転嫁や取引の適正化を進めるため、相談窓口の設置や「パートナーシップ構築宣言」の普及促進などを通じて、賃上げと人材確保を力強く支援してまいります。

このほか、持続的な経済成長と

地域の豊かさを実現するには、企業が付加価値を高めて適正な利益を生み出し、そこから生産性向上と賃上げの好循環を築くことが重要です。産学連携や企業間の交流機会を増やし、オープンイノベーションの場を整備することで、新たな価値の創出を促進してまいります。

以上の取り組みを進めていくにあたり、前期の政策委員会を取りまとめた中期指針である「ビジョン2035」の実行について、各委員会や部会の具体的な取り組みの中で実現を目指してまいりたいと考えております。

今年、札幌商工会議所は、創立120周年を迎えます。

商工会議所の使命は、地域経済を支えている中小企業・小規模事業者の挑戦や持続的な成長を支援し、地域社会の発展に寄与することにあります。事業者の課題に真摯に向き合い、その課題解消に向けた支援を拡充して取り組んでまいります。